

株主のみなさまへ

# 株式会社 安川電機

## 第103期中間ご報告

2018年3月1日 ▶ 2018年8月31日

(証券コード: 6506)

### 株式会社 安川電機

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、この度の平成30年7月豪雨・台風21号ならびに北海道地震により被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、当社の2018年度中間期における業績につきましては、中国のスマートフォン関連需要の一服感から受注がやや減速したものの、製造業における生産設備の高度化・自動化を背景に、グローバルでデータセンターや家電、リチウム電池やEV(電気自動車)などの成長市場を的確に捉え、高い水準で推移しました。

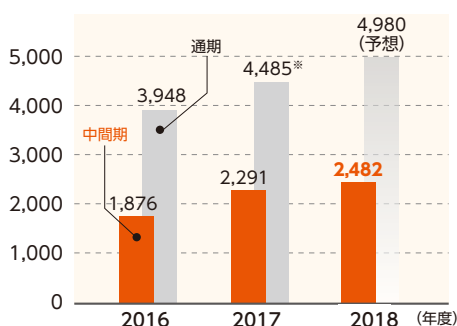
2018年度下期においては、半導体関連投資の鈍化や米中貿易競争の激化など、世界情勢の先行きに不透明感が広がっておりますが、当社は独自のソリューションコンセプト「i3-Mechatronics(アイキューブメカトロニクス)」の実現に向けた取り組みを進め、今後のさらなる飛躍を実現できる企業体質・経営基盤の確立を目指します。「技術立社」の名の下、世界一・世界初にこだわった製品を常に生み出すことを心がけ、企業価値の向上と持続的成長を安川グループ全員で目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

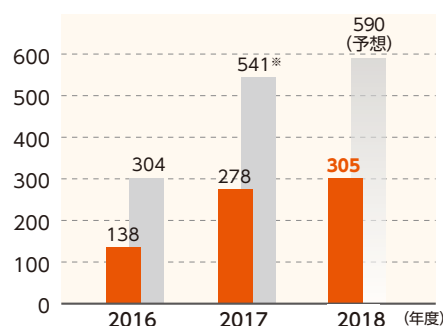
2018年11月

代表取締役社長 **小笠原 浩**

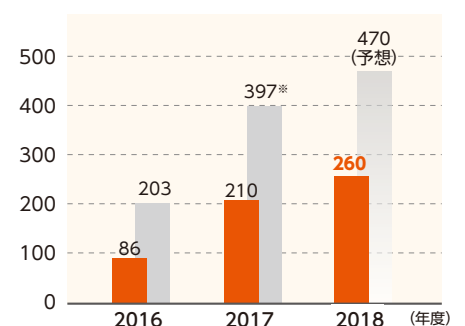
● 売上高 (単位:億円)



● 営業利益 (単位:億円)



● 親会社に帰属する当期純利益 (単位:億円)



※2017年度通期の実績は、決算期変更により対象期間が2017年3月21日～2018年2月28日の数値です。

## ロボット 新たな挑戦を続け進化するロボット



自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。当社はロボットを構成する機械部品やコントローラなどを自社開発しており、高度化するお客様の要求にきめ細かく対応していくことで、トップメーカーの地位を築いています。

### ■業務の概要

売上高	営業利益
<b>882億05百万円</b>	<b>92億35百万円</b>

セグメント全体としては、国内外からの旺盛な需要を受け、売上高は好調に推移しました。

溶接・塗装ロボットなど自動車関連向けの販売は、堅調な設備投資需要を受け、日本・欧州・中国などで好調に推移しました。また、自動車関連以外の一般産業分野については、生産設備における自動化・省人化のニーズが継続したものの、スマートフォン関連需要に一服感がみられたことから、売上は伸び悩みました。

### ■新製品

#### 人協働ロボット「MOTOMAN-HC10DT ハンドキャリータイプ」を発売

市場の要求がめまぐるしく変化するものづくりの現場では、日々の生産計画の変化へフレキシブルに対応する必要があります。MOTOMAN-HC10DTハンドキャリータイプは、人協働ロボットMOTOMAN-HC10DTと手押台車を組み合わせることで、いつでもどこでも簡単移動・簡単設置を可能にし、ものづくりプロセスのフレキシビリティを向上させます。



MOTOMAN-HC10DT  
ハンドキャリータイプ

#### 主な用途

- 装置内・装置間搬送、検査・測定、小物部品の仕分け・整列・箱詰め・ピッキング等

## システムエンジニアリング 世界に誇る安川電機のシステム技術



鉄鋼・水処理プラントなどへ高度なシステム技術と高品質な製品により最適なソリューションを提供し、快適な暮らしと豊かな町づくりに貢献しています。また、省エネ・創エネ技術を応用し、大型風力・太陽光発電関連ビジネスを展開するなど、クリーンパワー事業にも参入しています。

### ■業務の概要

売上高	営業損失
<b>277億08百万円</b>	<b>△5億00百万円</b>

鉄鋼プラントシステム・社会システム分野においては、一部の国内案件で進捗影響があったものの、設備の更新ニーズを的確に捉え、売上高は底堅く推移しました。環境・エネルギー分野では、米国市場における太陽光発電用パワーコンディショナ関連の販売が低迷した一方で、大型風力発電関連の売上が欧州で伸長しました。これらの結果、セグメント全体の売上高は底堅く推移し、営業損失は環境・エネルギー分野を中心とした構造改革を進めたことにより、改善しました。

## トピックス

### ■安川テクノロジーセンタ(仮称)新設の発表 ～基礎研究から量産試作までの一貫した研究開発体制の構築～

世界中の製造業における生産設備や機械などの高度化・自動化へのニーズが急速に高まる中、お客様の要求に対してスピーディーに対応できる体制の構築を目的として、基礎研究から量産試作までを一貫して行える研究開発拠点「安川テクノロジーセンタ」を新設いたします。安川グループの技術シナジーを最大化し、魅力ある新製品の開発や当社が誇るメカトロニクス技術とICT技術を融合した新しい自動化のソリューション提供を積極的に展開していきます。

## モーションコントロール 世界のニーズにこたえるモーションコントロール事業



ACサーボ Σ-7シリーズ

安川インバータ 新シリーズ

ACサーボモータ・コントローラ、インバータなどの製品があります。ACサーボモータ・コントローラは電子部品や半導体部品などの高い精度が求められる製造装置に組み込まれ、生産設備の高度化ニーズに応えています。インバータはビル空調やクレーン、エレベータなどの社会インフラで利用され、きめ細かなモータ制御によって、省エネに貢献しています。

### ■業務の概要

売上高	営業利益
<b>1,135億66百万円</b>	<b>222億03百万円</b>

ACサーボモータ・コントローラにおいては、製造業における生産設備の高度化・自動化が加速する中、リチウムイオン電池向けなどの成長市場を的確に捉えました。その一方で、中国を中心にスマートフォン関連需要に一服感がみられたほか、半導体関連の設備投資が弱含んだことから、売上は伸び悩みました。

インバータにおいては、中国での環境規制強化に伴う省エネ化への需要や、米国におけるオイル・ガス関連需要が高い水準で推移したことから、グローバルで販売は好調に推移しました。

これらの結果、セグメント全体の業績は底堅く推移しました。

### ■新製品

#### マシンコントローラに装着するロボットモジュール「RM100」を販売開始

マシンコントローラから産業用ロボットの制御が可能なハード面での統合ソリューションとなる「ロボットモジュールRM100」の販売を開始いたします。これによりマシンコントローラを使用する様々な産業機械(装置)において、多関節の産業用ロボットを、その一部として構成することができるようになります。また、生産工程の統合や生産速度の変更が容易となり、生産量の変動や多品種に対応できるフレキシブルな装置構築が可能となります。



ロボットモジュール RM100

#### マトリクスコンバータ「U1000」船級規格対応品を販売開始

船舶で駆動しているクレーン・ポンプなどの動力源であるディーゼル発電機について、近年では省エネを目的としたインバータ化が加速しています。このニーズに対応するため、高調波の抑制機能などでご好評いただいているマトリクスコンバータU1000を各種船級規格に適合させ、製品化しました。



マトリクスコンバータU1000  
EMCフィルタ内蔵タイプ

#### 主な用途

- 船舶のデッキクレーン、ウィンチ、空調・ファン、ポンプ制御など

## その他

### ■業務の概要

売上高	営業利益
<b>187億63百万円</b>	<b>5億73百万円</b>

その他セグメントは、情報関連事業および物流サービス事業などで構成されています。子会社の新規連結化による影響や、EV関連の量産立ち上げによる一時的な影響もあり、売上高・営業利益は伸長しました。



EV用モータ  
ドライブシステム

※2017年度は変則決算のため、売上高・営業利益の前期比増減率は記載しておりません。

### ■株式会社FAMSの設立(2018年8月)～「食」の生産自動化事業への挑戦～



自然環境による影響を受けない農産物の安定供給に対する需要の高まりや、食品加工の生産現場での人手不足などを背景とし、「食」の生産自動化を実現するために、新会社FAMSを設立いたしました。当社が長年培ってきたモーションコントロール技術、エネルギー変換技術、そしてロボット制御技術を活用することで、食品市場におけるソリューション開発を進めます。

●株式の状況 (2018年8月31日現在)

■発行済株式の総数 ..... 266,690 千株

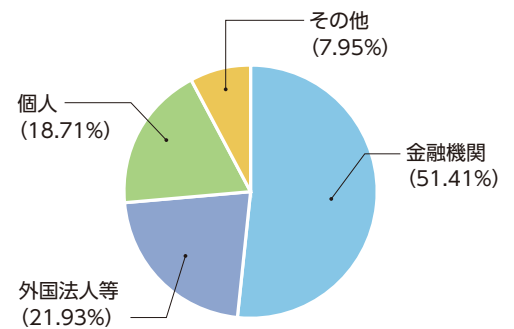
■株主数 ..... 89,794 名

■大株主の状況

大株主(上位10位)	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,846千株	9.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	23,192千株	8.77%
株式会社みずほ銀行	8,100千株	3.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,970千株	3.01%
明治安田生命保険相互会社	7,774千株	2.94%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375千株	2.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,478千株	1.69%
第一生命保険株式会社	4,199千株	1.59%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	3,867千株	1.46%
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	3,833千株	1.45%

(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■配当金情報

第103期(自2018年3月1日 至2019年2月28日)配当について			
中間配当	1株につき	26円	
期末配当	1株につき	26円(予想)	
年間	1株につき	52円(予想)	

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで(2018年度より)〈注〉
定時株主総会開催月/配当金受領株主確定日	5月/毎年2月末日および8月31日(2018年度より)〈注〉
公告方法	電子公告( <a href="http://www.yaskawa.co.jp/ir/">http://www.yaskawa.co.jp/ir/</a> )
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

〈注〉当社は、2017年6月15日開催の第101回定時株主総会において「定款一部変更の件」を決議し、決算期を3月20日から2月末日に変更しました。

■未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き、マイナンバーのお届出等

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま(特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問い合わせください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル  
**0120-288-324**

オフィシャルサイト、YASKAWAレポートのご案内

<https://www.yaskawa.co.jp/>

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



QRコード



株主・投資家情報をクリック



統合報告書  
「YASKAWAレポート」



YASKAWAレポート2018

今年のYASKAWAレポートは、6つの資本の観点から当社グループの価値創造プロセスを説明するとともに、そのプロセス推進の要となるガバナンスを加えた7つの章立てで、当社の価値を総合的にご判断いただけることを目指し制作いたしました。ぜひご覧ください。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。